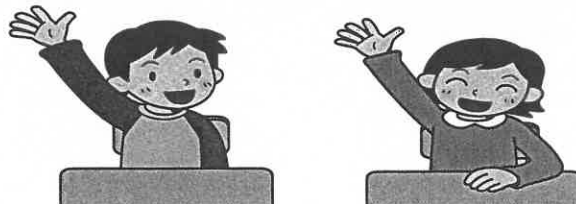
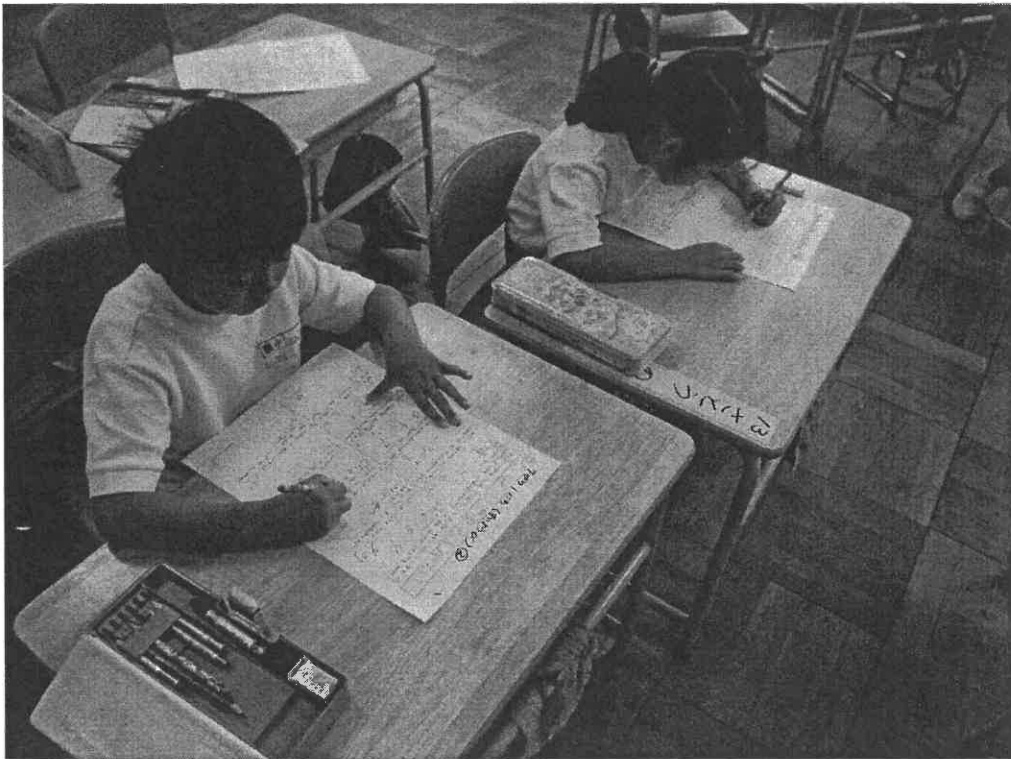


第2回行田市総合教育会議 補助資料

- ・「平成29年度埼玉県学力・学習状況調査の分析結果」
- ・「平成29年度全国学力・学習状況調査の分析結果」
- ・「市内小・中学校の学力向上に係る取組」

学校教育課



平成29年11月17日（金）

9：30～ 2A会議室

目 次

- 1 平成29年度 埼玉県学力・学習状況調査<行田市の分析結果>について P 1
- 2 平成29年度 学力向上に係る取組（埼玉県学力・学習状況調査）のまとめ P 6
- 3 平成29年度 全国学力・学習状況調査<行田市の分析結果>について P 8
- 4 平成29年度 学力向上に係る取組（全国学力・学習状況調査）のまとめ P 13

平成29年度 埼玉県学力・学習状況調査<行田市の分析結果>について

- (1) 調査の目的 ・本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進するため。
- (2) 調査対象 小学校第4～6学年、中学校第1～3学年の全児童生徒
- (3) 調査日 平成29年4月13日
- (4) 調査結果の概要

【小学校 国語について】

◇県平均と比較して正答率が上回った問題の概要

◆課題のある問題の概要

《第4学年》

- ◇同音異義語の中から文脈に合うものを選択する。
- ◇指示語の示す内容を文中から書きぬく。
- ◇漢字の「へん」を書き、その名前として適切なものを選択する。
- ◆登場人物の心情をまとめた文にあてはまる言葉を書きぬく。
- ◆登場人物の発言が向けられた相手を書きぬく。
- ◆場面の様子から、登場人物の心情として適切なものを選択する。
- ◆国語辞典に出てくる順に言葉を並び替える。

《第5学年》

- ◇漢字を読む（漢字の訓）。
- ◇漢字の部首名を書き、どんな意味に関係しているかを選択する。
- ◇同音異義語の中から文脈に合うものを選択する。
- ◆書き直したのを見てどんな効果があったかを選択する。
- ◆登場人物の様子を説明する行動を選択する。
- ◆「も」で並列された内容を読み取る。
- ◆情景から登場人物の心情として適切なものを選択する。

《第6学年》

- ◇漢字を書く（音+音の熟語）。
- ◇同音異義語の中から文脈に合うものを選択する。
- ◇文の主語を書きぬく。
- ◆文中にあてはまる適切なことわざの一部を選択する。
- ◆物語中の表現の説明として適切なものを選択する。
- ◆登場人物の心情の説明として適切なものを選択する。
- ◆物語中の表現による効果として適切なものを選択する。

評価の観点別平均正答率から考察する学習指導改善のための方策

- ★ 評価の観点別平均正答率では、全学年ともに「言語についての知識・理解・技能」は県平均を上回り、「読む能力」は、県平均を下回りました。5年生の「話す・聞く能力」は、県平均よりも上回り、「書く能力」に課題が見られました。6年生の「話す・聞く能力」に課題が見られました。
- ★ 読む能力を高めるために、日々の読書活動を充実させるとともに、学習の単元の始めに、読んでみたくなるような読みの課題を設定するなど、これまで以上に単元を貫く言語活動の充実を図っていきます。
- ★ 昨年度の課題であった、「主語と述語」関係の理解に係る設問では、5・6年生において県平均を上回りました。
- ★ 全学年に共通して言えるのが、物語の「登場人物の心情を読むこと」が不十分であることです。登場人物に寄り添いながら物語を読み浸る読書活動について、授業のみならず、家庭にも協力を得ながら充実させていきます。

【小学校 算数について】

◇県平均と比較して正答率が上回った問題の概要

◆課題のある問題の概要

《第4学年》

◇身の回りにあるものの重さの単位を書く。

◇表の中の数が何を表しているかを書く。

◇整数と小数のひき算の計算をする。

◆コンパスを使って模様をかいととき、どこにコンパスの針をさしたかを選ぶ。

◆周りの長さで横の長さから、長方形のたての長さを求める。

◆球の性質を利用して、球が入った箱の横の長さを求める。

◆長さの単位について適切なものを選ぶ。

《第5学年》

◇四捨五入して概数で表す。

◇分度器を用いて角度を求める。

◇1組の三角定規を組み合わせたときの角の大きさを求める。

◆長方形のたての長さで横の長さの関係で表す。

◆文章を読み、その関係をもとに、兄の年齢が何倍かを求める。

◆数字と小数点のカードを使い、2番目に小さい数をつくる。

◆わり算の計算をするときの工夫の仕方を書く。

《第6学年》

◇分数と整数のかけ算の計算をする。

◇最大公約数を求める。

◇比べる量の割合が一番大きいものを選ぶ。

◆高さが等しいときの三角形の面積を求める。

◆帯グラフを読み取り、説明として適切なものを選ぶ。

◆円周の長さが直径の長さの何倍かを求める。

◆文章を読み、平均をもとに必要な得点を求める。

評価の観点別平均正答率から考察する学習指導改善のための方策

★ 領域等別平均正答率では、4・5年生の「量と測定」、4・6年生の「数量関係」、6年生の「数と計算」が県平均よりも上回りました。また、全学年とも、「図形」が県平均よりも下回りました。評価の観点別平均正答率では、6年生は、「数学的な考え方」に課題が見られました。

★ 「数学的な考え方」を向上させるために、問題を解決する過程において、判断したり、推論したりする活動を多く取り入れ、見通しをもち筋道を立てて考え表現する力を高めていく指導を工夫していきます。

★ 図形の領域については、作業的・体験的活動などの算数的活動をとおして、実感を伴った理解をさせていきます。

【中学校 国語について】

◇県平均と比較して正答率が上回った問題の概要

◆課題のある問題の概要

《第1学年》

◇同訓異字の中から文脈に合うものを選択する。

◇一文の中で修飾語に対応する被修飾語を選択する。

◇漢字を書く（漢字の訓）。

◆文中にあてはまる適切な四字熟語を選択する。

◆グラフをみて、空欄にあてはまる文を選択する。

◆文中にあてはまる適切なことわざの一部を選択する。

◆文中にあてはまる適切なことわざを選択する。

《第2学年》

- ◇漢字を書く。(音+音の熟語)
- ◇音訓の組み合わせが同じ二字熟語を選択する。
- ◇一文を単語で区切った場合の正しい区切り方を選択する。
- ◆スピーチ原稿中の表現技法と効果について説明したものとして適切なものを選択する。
- ◆文中にあてはまる適切な四字熟語を選択する。
- ◆本文に書かれた事象の理由として適切なものを選択する。
- ◆歴史的仮名遣いを現在仮名遣いに直して書く。

《第3学年》

- ◇漢詩の訓読文を書き下し文にする。
- ◇活用の種類が同じ動詞を選択する。
- ◇文脈に合う言葉を選択する。
- ◆他と品詞が違うものを選択する。
- ◆漢字を書く。(音+音の熟語)
- ◆漢字を読む。(音+音の熟語)
- ◆情景を説明したものとして適切なものを選択する。

評価の観点別平均正答率から考察する学習指導改善のための方策

- ★ 評価の観点別平均正答率から、1年生の「言語についての知識・理解・技能」が県平均を上回りました。1・2年生の「話す・聞く能力」に課題が見られました。3年生の「言語についての知識・理解・技能」に課題が見られました。
- ★ 「話す・聞く能力」を高めるために、単元全体に言語活動を位置付け、必要な資料を生かしながら、話し合う活動を充実することが大切です。また、主体的・対話的で深い学びの視点から言語活動を工夫し、話し方や聞き方の効果についても十分に理解させていきます。
- ★ 昨年度の課題であった、3年生の「書く能力」と「読む能力」については、県平均との差を縮めることができました。
- ★ ことわざ・慣用句を文章の中に取り入れた言語活動の充実を図ります。また、古文に親しみをもつ生徒を育てていきます。

【中学校 数学について】

- ◇県平均と比較して正答率が上回った問題の概要
- ◆課題のある問題の概要

《第1学年》

- ◇線対称であるものを選んで書く。
- ◇小数の逆数として適切なものを選ぶ。
- ◇度数分布表からある範囲の割合を求める。
- ◆直方体の容器に入れた水の深さを求める。
- ◆円の面積から半径を求める。
- ◆分数の計算を用いて、文章題（ページ数）を解く。
- ◆分数や小数の計算を用いて、文章題（針金の重さ）を解く。

《第2学年》

- ◇5回の得点の範囲を求める。
- ◇整数部分が1けたの小数と10の累乗の積で表したとき、適切なものを選ぶ。
- ◇比例の式から適切なグラフを選ぶ。
- ◆ヒストグラムを見て、正しい最頻値を選ぶ。
- ◆身長が低い方であるという考え方が適切ではない理由について、ヒストグラムをもとに説明する。
- ◆おうぎ型の弧の長さを求める。
- ◆長方形が回転してできる円柱の表面積として正しいものを選ぶ。

《第3学年》

- ◇正多角形の1つの外角の大きさを選ぶ。
- ◇平行線の性質と三角形を利用して、辺の長さを求める。
- ◇カードをひくとき、和が奇数になる確率を求める。
- ◆数当てゲームをして出た答えについて、最初に決めた文字を用いて表したものを選ぶ。
- ◆文字式の計算をして、適切なものを選ぶ。
- ◆文章題（入園料）を読み、連立方程式をつくる。
- ◆連立方程式の解を代入して求めた a, b の値として適切なものを選ぶ。

評価の観点別平均正答率から考察する学習指導改善のための方策

- ★ 全体の平均正答率では、1年生は県平均より上回りました。3年生に課題が見られました。
- ★ 領域等別平均正答率では、1年生は、図形以外の項目で県平均を上回りました。2年生は、県平均と同等でした。3年生は、「数と式」、「関数」、「資料の活用」に課題が見られました。評価の観点別平均正答率では、1年生は、すべての項目で県平均よりも上回りました。3年生は、「数学的な考え方」、「数量や図形についての技能」に課題が見られました。
- ★ 「数学的な考え方」を向上させるために、問題解決の過程において、判断したり、推論したりする活動を多く取り入れ、論理的に考え表現する力を高めていく指導を工夫していきます。
- ★ 「数量や図形についての技能」を高めるために、具体的な場面で図や言葉、式で説明する活動をとおして、論理的な思考を促し、知識と技能を確実に身に付けさせる指導を工夫していきます。

【中学校 英語について】

◇県平均と比較して正答率が上回った問題の概要

◆課題のある問題の概要

《第2学年》

- ◇英文が完成するように、() に当てはまる正しい英語 (be動詞) を選ぶ。
- ◇英文が完成するように、() に当てはまる正しい英語 (前置詞) を選ぶ。
- ◇三単現を用いた英文の正しい語順を選ぶ。
- ◆動作を聞き取り、内容を表す正しい日本語を選ぶ。
- ◆英文が完成するように、() に当てはまる正しい英語 (動詞の時制) を選ぶ。
- ◆英語の文章を読んで、下線部の質問に対する答えを選ぶ。
- ◆英文が完成するように、() に当てはまる正しい英語 (代名詞) を選ぶ。

《第3学年》

- ◇英語の文章を読んで、過去にしたことをたずねる英語の質問に対する答えを選ぶ。
- ◇理由をたずねる英文の正しい語順を選ぶ。
- ◇日本について、一番好きなことをたずねる質問を、1つの英文で書く。
- ◆会話が行われている場所を表す正しい絵を選ぶ。
- ◆場所についてたずねる質問を選ぶ。
- ◆英文が完成するように、() に当てはまる正しい英語 (前置詞) を選ぶ。
- ◆場所と人物の行動を聞き、正しい絵を選ぶ。

評価の観点別平均正答率から考察する学習指導改善のための方策

- ★ 全体の平均正答率では、3年生に課題が見られました。
- ★ 領域等別平均正答率では、2・3年生とも「聞くこと」に課題が見られました。また、3年生の「読むこと」に課題が見られました。評価の観点別平均正答率では、2年生は、「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」、「外国語表現の能力」、「言語や文化についての知識・理解」が県平均より上回りました。3年生は、「外国語表現の能力」が県平均よりも上回り、「外国語理解の能力」、「言語や文化についての知識・理解」に課題が見られました。
- ★ 聞くことの力を高めるために、英語を聞いてその意味を表面的に理解するだけでなく、話し手の意向などを理解できるようにしていきます。特に、つながりのある、双方向の対話を意識した活動を一層充実させる工夫をしていきます。

【児童・生徒の質問紙調査の結果から】

〈小・中共通〉

- ・勉強する理由：勉強することが楽しい、好きだから。
- ・勉強する理由：先生や家の人にほめられたいから。
- ・勉強するときは、参考書や事典などがすぐ使えるように準備しておきますか。
- ・勉強するときは、最後に友達と答え合わせをするようにしていますか。
- ・勉強で大切なところは、繰り返して書くなどして覚える。
- ・勉強する前に、勉強に必要な本などを用意してから勉強するようにしていますか。
- ・学校の授業の予習や復習をしていますか。
- ・地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか。

〈小学校〉

- ・勉強するときは、最初に計画を立ててから始めますか。
- ・先生の話や友達の発表をしっかりと聞き、自分の考えを伝えることができていますか。
- ・勉強のできる友達と同じやり方で勉強しますか。

〈中学校〉

- ・勉強で分からないところがあったら、勉強のやりかたをいろいろ変えてみますか。
- ・問題が退屈でつまらないときでも、それが終わるまでなんとかやり続けられるよう努力しますか。
- ・勉強のやり方が自分に合っているかどうか考えながら勉強しますか。
- ・埼玉県や今住んでいる市町村の歴史や自然に関心を持っていますか。

- ・授業で課題を解決するとき、みんなでいろいろな考えを発表していましたか。
- ・相手の顔を見て、はっきり挨拶をすることができていますか。
- ・自分にはよいところがあると思いますか。
- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをすることについて、家の人と約束を決めていますか。

【今後の方策について】

- ・教職員向けの「うきしろスタンダード」の作成と活用をとおして、市内のすべての教員が、子供たちに対して、努力を賞賛する言葉や互いに認め合う言葉を積極的に使い、子供たちの学習に対する取り組み方を向上させるように進めてまいります。また、主体的・対話的で深い学びを目指した、問題解決学習のあり方や家庭学習への取組について研究を進め、子どもたちが学校でも家庭でも、学んでよかった、さらに学んでみたいという意欲を醸成させたいと考えています。
- ・地域の歴史や自然に関心を持ち、地域の大人と進んで関わっている児童が多い傾向が見られました。現在、市全体で推進している「足袋の教育」や「行田ふるさと学」が深まりつつあるということが伺われます。今後も、学校生活や、地域の方々との関わりをとおして、子供たちの地域への感謝の心を醸成させたいと考えています。
- ・課題と考えられる、ゲーム機や携帯電話の使い方の決まり等については、基本的な生活習慣の見直しも含め、保護者への協力も呼びかけてまいります。

【県平均と比較して、達成率の高い項目】

- ★ 勉強する理由として、先生や家の人にほめられたいと答えた割合が、小・中学校ともに県平均を上回りました。また、勉強を始める前に計画を立てたり、学習の準備を整えたりしている児童・生徒が多くいることが分かりました。さらに、授業の予習や復習をしている児童・生徒が多くいることも分かりました。
- ★ 小学校では、友達の学び方を生かして学習を進める児童の割合が、県平均よりも上回りました。また、中学校では、勉強のやり方が自分に合っているかどうかを考えながら勉強を進める傾向があることが分かりました。
- ★ 埼玉県や行田市の歴史・自然に関心を持ち、地域の大人と進んで関わっている児童・生徒が多い傾向が見られました。

【やや課題があると考える項目】

- ★ 授業で課題を解決するとき、みんなでいろいろな考えを発表することが県平均よりやや低い結果となりました。また、あいさつや自分にはよいところがあると思うかという項目に課題が見られました。
- ★ テレビゲームや携帯電話、スマートフォン等の使い方について、家庭で約束を決めている子供の割合がやや低いことが分かりました。

【成果のあった取組例について】

《基礎基本の徹底》

○小学校

- ・ドリルやプリントによる反復練習で確実に身に付けさせた
- ・業前や夏休み、さらには特別日課においてパワーアップ学習を実施した
- ・日記や短作文を書く活動を計画的に実施した
- ・読書や新聞を活用し、漢字やことわざなどの語彙量を増やした
- ・朝自習に「コバトン問題集」に取り組ませた
- ・定期的に読書する時間を設定し、ミニ感想文を書かせた
- ・週2回の補習の時間には、担任以外も各学級にて丸付けを行った
- ・詩の暗唱や群読に取り組ませ、語彙力の向上や語感の醸成を図った
- ・「今日のことわざ」の放送をした
- ・毎月、課題文の暗唱をした

○中学校

- ・夏休みに補充学習を実施した
- ・毎時間、授業中に小テストを実施し、自己評価を行った
- ・校内弁論大会を実施した

《ノート指導》

○小学校

- ・問題に対する考えを自分の言葉でまとめさせた
- ・ノートの取り方の見本を低学年、高学年に分けて作成し、保護者にも周知した

《家庭学習》

○小学校

- ・行田版家庭学習のすすめダイジェスト版を活用した
- ・全校で家庭学習に関する共通のルールを作成した
- ・家庭学習を頑張った児童に対して、表彰をした
- ・年度初めの学級懇談会の際に、「家庭学習のすすめ」と「シラバス」を配布した

○中学校

- ・家庭学習ノートを毎日提出させた
- ・家庭学習時間の調査を行い、調査結果を掲示することで、生徒の学習意欲を喚起した

《授業の工夫》

○小学校

- ・めあての確認と振り返りの時間を必ず確保した
- ・授業の進め方や板書・ノート指導を全職員で共通理解し、全クラスで実施した
- ・ペアやグループでの話し合い、書く活動を充実させた
- ・自分で考え、導き出し、説明する機会を増やした
- ・算数指導において言語活動の充実をした
- ・算数の授業の後半に練習問題(適用問題)に取り組ませる時間を確保した

○中学校

- ・話し合い活動やアクティブ・ラーニングを取り入れた授業を充実させた

- ・数学の授業において少人数指導を実施した
- ・授業のめあてをしっかりとらせ、終了時は、「振り返り、まとめ」をしっかりと行った
- ・全教科・領域にわたり、グループによる話し合い活動を積極的に取り入れた
- ・学習過程の流れ（学習課題・学び合い・振り返り）に沿って指導してきた

《過去問題の取組》

○小学校

- ・「コバトン問題集」「東部教育事務所作成プリント」のファイリングを工夫した
- ・行田版フォローアップシートの活用
- ・先生方が過去問を解く時間を設定した
- ・全校で過去問等に取り組む時間を確保した

《その他の取組》

○小学校

- ・個々の児童のつまずきに遡って学び直す、放課後支援学習を行った
- ・ノーテレビ・ノーゲームデーを実施し、家庭での読書時間を設定した
- ・学期1回の全員授業公開を実施し、指導力向上を図った
- ・問題に粘り強く取り組む習慣を付け、考えることをすぐにあきらめないようにした

○中学校

- ・「相互授業参観」で授業を見せ合い、評価をフィードバックした

【改善策について】

《基礎基本の徹底》

○小学校

- ・自校の学習規律の徹底指導をした（「〇〇小学びの名人」の活用）

○中学校

- ・授業中の小問題の取組を今後も継続していく

《家庭学習》

○小学校

- ・週末にコバトン問題集から課題を出し、家庭で一緒に取り組ませる

《授業の工夫》

○小学校

- ・ICT機器を効果的に活用し、授業改善を図る

○中学校

- ・他の意見や文章を要約し、内容を理解する力を高める

《その他の取組》

○小学校

- ・読書の質の向上を図ることで、読解力の向上につなげる
- ・読解力や記述力が必要な問題に挑戦させたり、個に応じて発展的な課題に取り組ませたりする
- ・できていることや向上したことを具体的に褒め、児童の自己肯定感を高め、課題にも気付かせる
- ・授業や集会などに生徒の発表の場を設定していく

平成29年度 全国学力・学習状況調査〈行田市の分析結果〉について

- (1) 調査の目的 ・学校における児童生徒への教育活動の充実や学習状況の改善等に役立てる。
 ・教育に関する継続的な検証サイクルを確立する。
- (2) 調査対象 小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒
- (3) 調査日 平成29年4月18日
- (4) 調査結果の概要

【小学校 国語について】

◇全国平均と比較して正答率が上回った問題・◆課題のある問題

＜A問題＞

- ◇漢字を書く（4年生のきぼう者）
- ◇漢字を書く（参加たいしょう）
- ◇漢字を読む（申し込み期限）
- ◆学校新聞を書くために、「時の記念日」についての【資料】から、小野さんと今村さんが中心に読むとよい段落をそれぞれ選択する
- ◆学級文集のタイトルを決める話し合いにおける野村さんの報告の説明として適切なものを選択する
- ◆俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する

＜B問題＞

- ◆グループの話し合いの中で、石田さんたちは、スピーチメモを使うことによさについてどのように考えているかについて書く
- ◆【緑のカーテン作りへの協力のお願い】における文章の構成の工夫として当てはまるものを選択する
- ◆【友達の考え】と同じ考えの人を説得するために引用する文章を、『緑のカーテンを始めよう』の一部から選択する
- ◆スピーチの練習の様子を記録した動画を見る目的として、適切なものを選択する

学習指導改善のための今後の方策

★ 課題のある問題に対応する力を高めるために次のような指導の充実を図っていきます。

○話す・聞く能力を高めるために

- ・話し合いの目的や目指す到達点、そこに向かう話し合いの進め方などを確認し、司会者や提案者、参加者などの役割に基づいて、話し合う目的や必要性を意識して話し合いを進めていくようにする。【3年・4年】
- ・教師の演示などによる話し合いのモデルを提示し、互いの考えの共通点や相違点を確認しながら話し合いを進めている様子を具体的に示すようにする。【3年・4年】
- ・よりよいスピーチにするために、例えば自分や友達の発表の様子を動画で撮影するなどして、観点に沿って振り返ることができるようにする。【5年・6年】
- ・スピーチメモを活用して話す際に、相手の意図に応じて、自分の考えが伝わるように複数の事例を取り上げたり、話す速さや間の取り方を工夫したりするなどして、考えながら話すことができるようにする。【5年・6年】

○書く能力を高めるために

- ・協力を依頼する文章においては、目的、意図、相手、方法について十分に整理しながら、常に読み手の立場に立って内容や構成を考えることができるようにする。【5年・6年】
- ・普段から、単元設定の段階で、児童の日常生活の中から書く必要のあることを取り上げて題材を選び、書くことによってどのような良さが期待できるかなど、見通しをもたせるようにする。【5年・6年】
- ・説得力をもって自分の考えを伝えるために、引用して書く活動を計画的に取り入れる。その際に、引用は原文に正確に行うことや、引用した部分と自分の考えとの関係などを明確にすることに注意するようにし、引用した文章等の出典については必ず明記するとともに、引用部分が適切な量になるようにすることも押さえるようにする。

【5年・6年】

○読む能力を高めるために

- ・「何のために調べるのか」、「何について調べるのか」など、調べる目的や事柄を明確にした上で、本や文章を選び、その中の記述や説明から、課題を解決するために必要な情報を選択することができるようにする。【3年・4年】

○言語についての知識・理解・技能を高めるために

- ・俳句の指導では、季節感や風情、俳句に込められた思いなどを思い浮かべること、七音五音を中心としたリズムから、国語の美しい響きを感じ取りながら音読したり暗唱したりすることをおして、文語の調子に親しむことができるようにする。【3年・4年】

【小学校 算数について】

◇全国平均と比較して正答率が上回った問題・◆課題のある問題

<A問題>

- ◇ $6+0$ 、 5×2 を計算する
- ◇二次元表の合計欄に入る数を書く
- ◇ 123×52 を計算する
- ◆重さ、長さについて任意単位による測定を基に比較しているものを選ぶ
- ◆示された平行四辺形の面積、半分の面積である三角形を正しく選ぶ
- ◆10、 $3+4$ を計算する

<B問題>

- ◆2けたのひき算の答えを求めることができるきまりを書く
- ◆示された式の中の数が表す意味を書き、その数が表のどこに入るかを選ぶ
- ◆小さい封筒で手紙を送る場合と大きい封筒で手紙を送る場合の、料金の差の求め方と答えを書く
- ◆13本の直線を使う場合、手紙の用紙の長い辺を3等分するのは、何本目の直線と交わった点かを書く

学習指導改善のための今後の対策

★ 課題のある問題に対応する力を高めるために次のような指導の充実を図っていきます。

○「数と計算」を高めるために

- ・計算の結果のおよその大きさを見積もり、計算の結果と見積もりの結果が大きく異なっていないかどうかを振り返る活動や、整数及び小数の乗法と整数及び小数の加法の筆算の仕方を比較する場を設け、筆算の仕方について確認することができるようにする。【4年】
- ・日常生活の問題の解決のために、示された方法を問題場面に適用し、算数が役立っていることを実感できるようにする。【3年・5年】

○「量と測定」を高めるために

- ・既習の量の比較や測定の方法を想起して、新たに学習する量の比較や測定に活用することができるように、既習の内容を振り返ったり、比較や測定の方法について見直しをもったりすることができるようにする。【1年・3年】
- ・二つの合同な三角形を組み合わせたたり、平行四辺形を対角線で二つの合同な三角形に分割したりすることで、三角形と平行四辺形の面積を比較し、関係を理解できるようにする。【5年】

○「数量関係」を高めるために

- ・見いだした数量の関係を言葉や式を用いて一般化して表現することができるようにする。例えば、児童が、見いだしたきまりを具体的な数値を用いて表現した場合には、「全てに共通することはどのようなことですか。」などと問い返し、児童自らが、見いだしたきまりを言葉や式で一般化して表現できるようにする。【4年・5年】
- ・日常生活の問題の解決のために、様々な情報の中から必要な情報を収集した上で、条件に合うものを選択し、数学的に処理することができるようにする。【3年】
- ・資料を二つの観点から分類整理し、目的に応じて「二次元表」に作り直す活動をとおして、二次元表の理解を深めることができるようにする。【4年】

【中学校 国語について】

◇全国平均と比較して正答率が上回った問題・◆課題のある問題

<A問題>

- ◇漢字を書く（雨で運動会がエンキになる）
- ◇「どれもこれも仁王を蔵しているのはなかった」の意味として適切なものを選択する
- ◇詩について説明したものとして適切なものを選択する
- ◆楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する
- ◆先生から必要な情報をもらうために適した発言に直す
- ◆（立候補者から）の欄の書き方を説明したものとして適切なものを選択する

<B問題>

- ◆アンケートをとる対象と質問内容、その質問についての回答を基にした内容を載せることで、興味をもってもらえると考えた理由を書く
- ◆聞き手が話し手に伝えようとしていることとして適切なものを選択する
- ◆比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く
- ◆下書きについての説明として適切なものを選択する

学習指導改善のための今後の方策

★ 課題のある問題に対応する力を高めるために次のような指導の充実を図っていきます。

○話す・聞く能力を高めるために

- ・インタビューのリハーサルで、引き出したい情報を引き出すことができたのか、相手に分かりやすい語句を選んで話すことができたのかなどの観点から尋ね方を振り返り、実際のインタビューに生かすことができるようにする。【中学1年】
- ・スピーチのリハーサルの際に、「互いのスピーチをよりよくするために聞く」という意識をもたせるとともに、話の論理的な構成や展開はどうか、相手や場を意識して話しているかなど、事前に定めた観点に沿って検討できるようにする。【中学2年】

○書く能力を高めるために

- ・書く目的や意図に応じて集めた材料を取捨選択したり、関連を考えて分類したり、時間的な推移や因果関係などに基づいて整理したりすることができるようにする。【中学1年】
- ・新聞やパンフレット、発表のための資料などを編集する際には、紙面全体で何を伝えるのかという目的を明確にした上で、情報をどのようなまとまりで示すのか、どのような順序で配置するのかなど、構成を考えて書くことができるようにする。【中学1年】
- ・自ら課題を決めて文章を書く際には、どのように情報を集めて、どのように提示すれば効果的なのかについて、グループで検討し、よりよい情報の方法について考えたり、具体的な提示の仕方について互いに助言し合ったりできるようにする。【中学1年】

○読む能力を高めるために

- ・文学的な文章について、印象に残った場面や描写を取り上げ、なぜその場面や描写が印象に残ったのかを具体的に説明できるようにする。その際、取り上げた場面や描写がどのような内容であるのかを明確にしたり、感じたことや考えたことと具体的に説明したりすることができるようにする。【中学1年】

【中学校 数学について】

◇全国平均と比較して正答率が上回った問題・◆課題のある問題

<A問題>

- ◇角の二等分線の作図の根拠となる対称な図形を選ぶ
- ◇ $5/9 \times 2/3$ を計算する
- ◇直方体において、与えられた辺に平行な面を書く
- ◆比例のグラフから式を求める
- ◆ $X+Y=2$ の下位の意味について選ぶ
- ◆円柱の体積を求める
- ◆錯角の位置にある角について、正しい記述を選ぶ

<B問題>

- ◇「420分未満より420分以上の女子の方が、合計点が高い傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する
- ◇与えられた表やグラフから、5月31日から4日経過したときに貯水量が2820万 m^3 であったことを表す点を求める
- ◇六角形をn個並べて6本ずつ囲んだときに、2回数えているストローをnを用いた式で表す
- ◆2つの角の大きさが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する
- ◆隣り合う4枚の正三角形の真ん中の1枚をある模様としたときに、残りの3枚にできる模様を選ぶ
- ◆ $\angle BAD$ と $\angle CBE$ が 20° のとき、 $\angle BEA$ の大きさを求める

学習指導改善のための今後の方策

★ 課題のある問題に対応する力を高めるために次のような指導の充実を図っていきます。

○「数と式」を高めるために

- ・二元一次方程式の文字に様々な数を代入し、二元一次方程式を成り立たせる文字の値の組を探る活動をとおして、二元一次方程式の解の意味を理解できるようにする。【中学2年】

○「図形」を高めるために

- ・柱体の体積を求める公式について、底面の図形が高さの分だけ平行に移動することによって構成される立体とみることと関連させて理解を深める場面を設定し、角柱や円柱の体積を求めることができるようにする。【中学1年】
- ・2直線に1直線が交わってできる角で、互いに同位角や錯角の位置にある角を見いだす活動を取り入れ、それらの角の位置関係について理解できるようにする。【中学2年】
- ・図形間の関係に着目して観察・操作・実験したり、図形の性質や特徴を捉える活動をしたりすることで、対称性を的確にとらえることができるようにする。【中学1年】
- ・結論を導くためには何が分かればよいかを明らかにしたり、与えられた条件を整理したり、着目すべき性質や関係から事柄が成り立つ理由について筋道を立てて考えたりする活動をとおして、証明できるようにする。【中学2年】
- ・辺の長さや角の大きさなどを求める場面を設定し、図形の性質を用いることができるようにする。【中学2年】

○「関数」を高めるために

- ・グラフの特徴と式を関連付けて考察する場面を設定し、比例のグラフからXとYの関係を式で表すことができるようにする。【中学1年】

【児童・生徒の質問紙調査の結果から】

【全国平均と比較して、達成率の高い項目】

〈小・中共通〉

- ・難しいことでも失敗を恐れないで挑戦していますか
- ・授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしていますか
- ・家で、学校の授業の予習をしていますか
- ・家で、学校の授業の復習をしていますか
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
- ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか

〈小学校〉

- ・友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか
- ・家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか
- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか
- ・地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか
- ・学校のきまりを守っていますか
- ・国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか
- ・国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか
- ・算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか

〈中学校〉

- ・学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）
- ・家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか
- ・家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参加や運動会などの学校の行事に来ますか
- ・学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか
- ・地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか
- ・学校の規則を守っていますか
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
- ・1、2年生のときに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか
- ・数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか
- ・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

【やや課題があると考える項目】

〈小・中共通〉

- ・昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか
- ・読書は好きですか

〈小学校〉

- ・学校で好きな授業がありますか
- ・5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか

〈中学校〉

- ・友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか
- ・400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか

【今後の方策について】

- ・「家で、自分で計画を立てて勉強をしている、授業の予習・復習している。」等、自主的に家庭学習に取り組んでいる割合が高いことについては、**行田市学力向上推進委員会を中心とした家庭学習の推進の成果**であると考えます。今後も、**家庭学習の一層の定着及び質の向上を図るため**家庭と学校の協力関係を高めてまいります。
- ・子供たちが、授業をとおして、「分かった・できた喜び」を味わい、「自己肯定感」を高めていくためには、**教師の温かな励ましと見届けが必要**であると考えます。今後も引き続き、**子供たちの達成感を醸成させるための授業改善**を図ってまいります。
- ・よりよい人間関係づくりをするために、子どもたちが「人の絆」の素晴らしさを実感する学習や体験活動のほか、「**行田の足袋学習**」や「**行田ふるさと学**」を通して行田のよさを実感させ、学校と地域とのつながりを深める機会などの充実にさらに努めます。
- ・子供たちが読書に親しむことができるように、家庭との連携を図りながら、**読書の質と量の改善につながる取組**を推進してまいります。

平成29年度 学力向上に係る取組(全国学力・学習状況調査)のまとめ

行田市教育委員会

【成果のあった取組例について】

《基礎基本の徹底》

○小学校

- ・業前の計算・漢字タイム、夏季休業中の補充学習で基礎問題に取り組んだ。
- ・日記や短作文を書く活動を増やした。
- ・学期末に漢字・計算テストを実施した。
- ・古文の暗唱を進めた。行田市で作成した「今月の詩」の暗唱を継続して行ってきた。
- ・視写プリントを活用した。
- ・「今日のことわざ」を給食時に放送することで、子供たちに意識づけすることができた。
- ・年間16回の水曜日に30分間の「ぐんぐんタイム」を位置付け、基礎的な知識・技能習得に努める。
- ・単元テストなどで無解答をなくす意識づけをさせた。
- ・補充学習では、担任以外（管理職）も丸付けを行い、複数対応で見直しまで行えるようにした。
- ・文法問題を補充する必要があったため、朝の学習で「ことばのきまり」ドリルに取り組ませた。
- ・行田版うきしろ学力調査の取組を活用した。

○中学校

- ・学習規律を徹底させる。（チャイム着席、話をしっかり聞く、姿勢を正して前を向く）
- ・スピーチを取り入れて自分の言葉で発信できる力を身に付けさせる。

《授業の工夫》

○小学校

- ・授業の進め方や板書、ノート指導（課題、めあて、まとめ、振り返り等）を全職員で共通理解し、全クラスで実践した。
- ・各授業の中で、ペアやグループでの話し合い、書く活動に取り組んだ。
- ・算数授業の進め方の型をつくり、学習のゴールを定め児童に主体的な学習を促した。
- ・授業の中で、練習問題に取り組む時間を十分確保し、基礎基本の定着を図った。

○中学校

- ・「学び合い学習」をさらに定着させ、授業での話し合い活動を充実させる。
- ・「めあて」を明確にし、本時の授業のまとめと振り返りがしっかり行われる質の高い授業を展開する。
- ・数学科で少人数指導を実施する。
- ・「つかむ・考える・深める・まとめる」の場面が分かるようにマグネットを黒板に表示し、生徒がより考える活動を多く取り入れた。

《家庭学習》

○小学校

- ・行田版家庭学習のすすめダイジェスト版を活用した。
- ・全校で家庭学習に関する共通のルールを作成し、保護者とも連携を図った。
- ・家庭学習を頑張った児童に対して、表彰のルールを決めた。

○中学校

- ・家庭学習時間の調査を行い、生徒の学習意欲を喚起した。

《過去問題の取組》

○小学校

- ・「コバトン問題集」、「東部教育事務所作成プリント」が利用しやすいようにファイリングを工夫し、活用した。

《読書の推進》

○小学校

- ・ノーテレビ・ノーゲームデーを実施し、家庭での読書時間を確保した。

《その他の取組》

○小学校

- ・学習支援が必要な児童とその保護者に了解を得て、個々の児童のつまずきに遡って学び直す、放課後支援学習を行った。
- ・学校用分析支援プログラムで、課題分析とその解決策に向けた手立てを考察する。
- ・「言語活動の充実に関する指導事例集」を生かした言語活動全体計画を作成した。
- ・中学校区でノーテレビ、ノーゲームデーを実施した。

○中学校

- ・日常的にお互いに授業を参観したり情報交換をしたりして、授業改善に取り組んでいる。

【改善策について】

《自己肯定感を高める》

○小学校

- ・自己肯定感の低さが目立った。褒める機会を増やし、相談にのるときは、自分のよさに気付けるような工夫をしたい。

《基礎基本の徹底》

○小学校

- ・多様な問題に取り組めるよう、「コバトン問題集」や「学力向上ワークシート」に継続して取り組ませる。

《家庭学習》

○中学校

- ・家庭学習に保護者の関わりが少ない。強化週間を設けて家庭学習の習慣化と充実を図る。
- ・毎日のノート点検を行う。
- ・学力向上推進委員会の取組に沿って家庭学習の質と量の充実を目指す。

《授業の工夫》

○小学校

- ・児童の学習のゴールの姿を明確にしながら、課題解決型の授業に改善し、根拠をもとに伝え合う活動を通して学力向上を図る。

○中学校

- ・グループ学習による教え合い・学び合いの学習を推進し、下位層の学力を向上させる。